



当茶園では栽培体系を、茶園の立地条件に合わせ
「有機栽培」「自然栽培」「つづける畑」の三つのスタイルに分類しています。

自然のリズムを大切にしたお茶づくりは共通していますが、
それぞれの役割は少しずつ異なります。

有機栽培の茶園



永年営んできた有機栽培によって安定したリズムで生育している茶樹

つづける畑の茶園

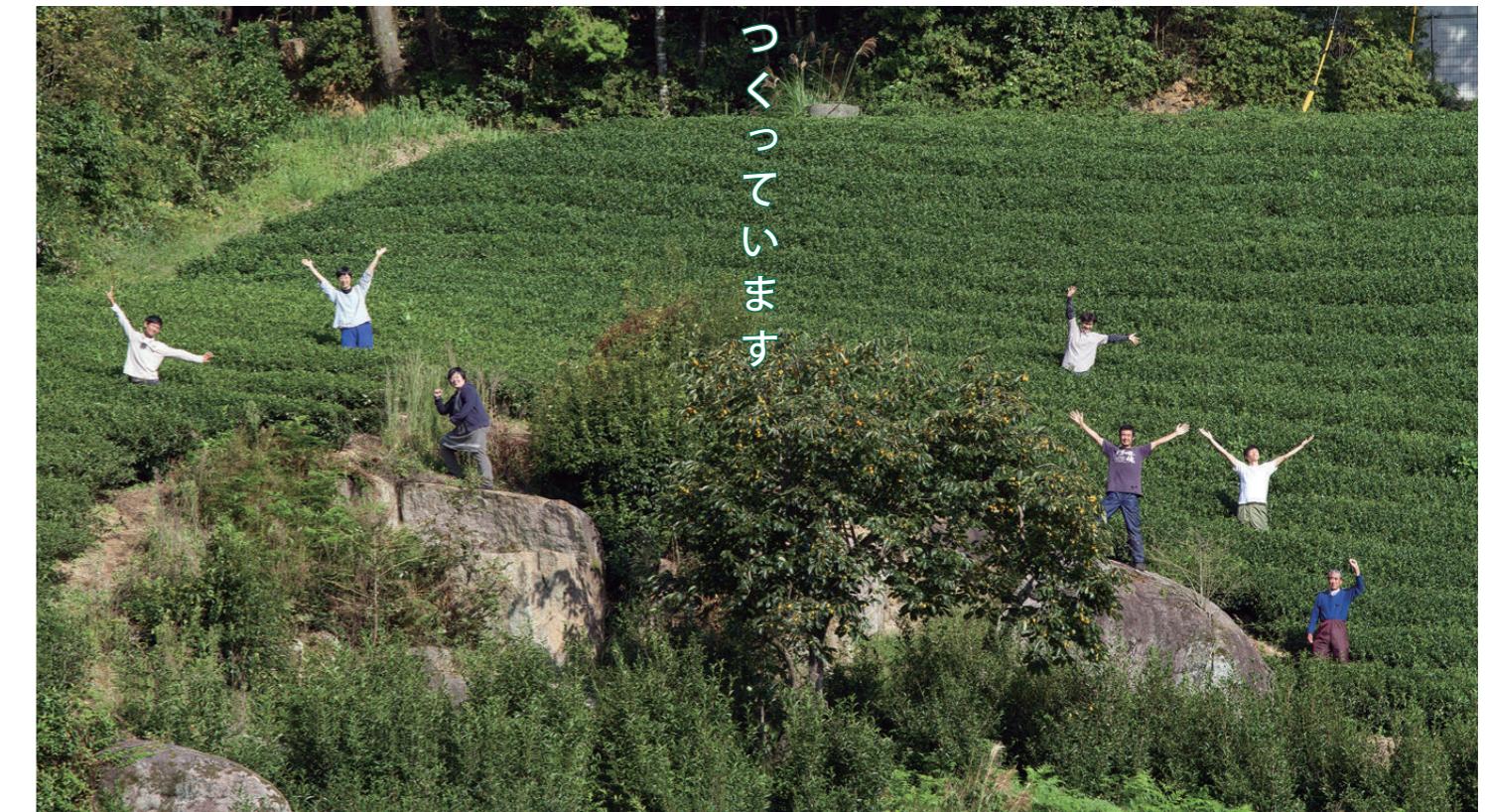


地域内で昔からつづけられてきた茶園の耕作を引き継ぎ、
自然栽培に向かっている途中の、つづける畑の茶樹

自然栽培の茶園



「小さく」「ゆっくり」と、奈良・月ヶ瀬の自然のリズムで
育つことができるようになってきた自然栽培の茶樹



奈良でお茶をつぐっています

月ヶ瀬健康茶園

<http://www.tukicha.com>

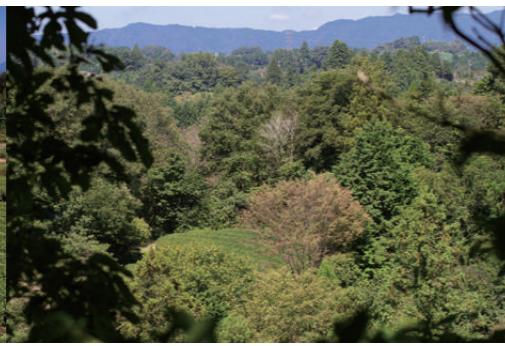
〒630-2302 奈良県奈良市月ヶ瀬尾山1965

TEL.0743-92-0739 FAX.0743-92-0737

e-mail. info@tukicha.com



① 梅ヶ谷団地 茶畑／やぶきた等
国営事業で大規模に区画造成された効率化・安定生産がテーマの茶園。傾斜度が緩く、土質は花崗岩まじりの砂質土。



⑤ 若山 茶山／さやまかおり
山の奥にポツンと存在する東向き緩傾斜地で、土質は花崗岩を含む壤土。



⑩ ゲンダラ 茶山／やまとみどり実生
丸い小石を多く含む地層のある場所に、南西～北東向き傾斜地に扇形に広がる縦畝茶園。土質は、丸石が混じる粘質土～壤土。



14 老間 茶山／在来
名張川のV字渓谷を登り切った山上に広がる土質は赤黄色土。



16 キトロデ(馬) 茶山／やまとみどり実生等
山成につくられた実生茶園で、陽当たり、排水性が良く南東向き一帯に広がる。土質は赤土～礫まじりの壤土。



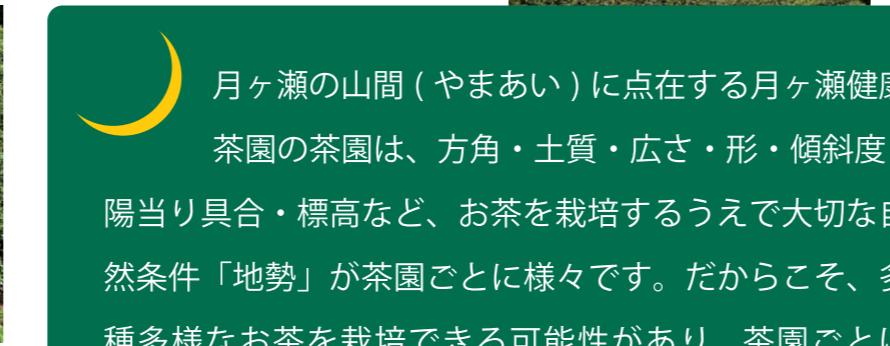
20 コメノ 茶山／やぶきた
四方を山に囲まれ、山の頂上から南東向き斜面の表土に広がる縦畝茶園。土質は赤黄色の粘質土壤。



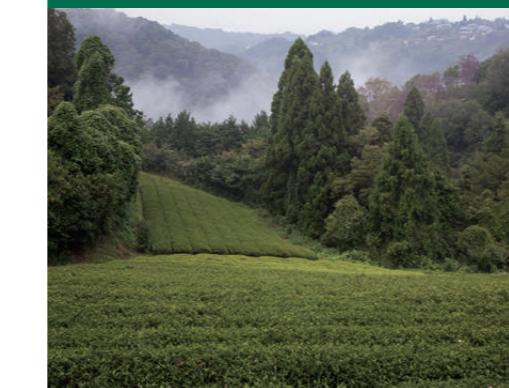
② 山ノ下団地 中間～茶畑／べにひかり・やぶきた等
山成りに造成され、毎年、安定した品質のお茶ができる茶園。排水性の良い緩斜面で、南向き区画と西向き区画があり、土質は粘質～礫混じりの砂壤土。



⑥ ホリコシ峠 茶山／在来・おくみどり等
伊賀盆地を見下ろす山の頂上から表土に沿った茶園で、土質は礫混じりの赤土。



月ヶ瀬の山間（やまあい）に点在する月ヶ瀬健康茶園の茶園は、方角・土質・広さ・形・傾斜度・陽当たり具合・標高など、お茶を栽培するうえで大切な自然条件「地勢」が茶園ごとに様々です。だからこそ、多種多様なお茶を栽培できる可能性があり、茶園ごとにテーマを持ったお茶づくりに取り組んでいます。



7 コクダシ1 茶畑／やぶきた
傾斜度の緩い西向き茶園で、土質は粘質から壤土。

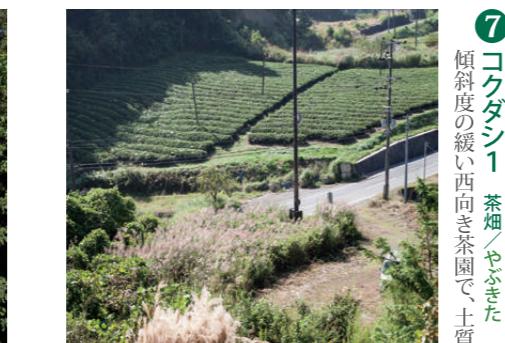


11 井口山 中間／べにふうき等
名張川に突き出た切り立つ尾根上に広がる排水性のよい西向き傾斜地で、土質は粘質土～砂壤土。

茶園百景



3 ヤケンド 茶山／やぶきた
尾根上の表土に沿った緩やかな凸地形の茶山で、土質は粘質土壤。



8 コクダシ2 中間／おくみどり等
伊賀盆地に続くなだらかな北東向き斜面の表土に茶樹を植えた茶園。土質は礫まじりの粘質土壤。



13 若山団地 茶畑／やぶきた
国営事業で山成斜面に造成された茶園。日照が穏やかな北西向き緩斜面で、土質は赤土。



15 長引・宮山 茶山／さえみどり等
地域で最も標高の高い山頂から南東向き急勾配の斜面に多品種を植えた茶園。大きな岩がゴロゴロあり、当園のシンボル的な茶園。茶山の上側と下側の標高差は約40m、土質は赤土～花崗岩まじりの壤土。



18 ハチドダ 茶山／やぶきた
南東向きの温暖な傾斜地に等高線に沿って階段状に広がっているものの、竹藪や落葉樹に囲まれ日照穏やかな茶園。土質は赤土。



22 切り下し 茶山／在来等
なだらかに広がる山の頂上にポツンポツンと4か所に点在する茶園。土壌には丸い小石を多く含み、南向きの縦畝傾斜で黄色い粘土の区域、やや西向き緩傾斜で黄色い粘土の区域、やや南向き緩傾斜で赤黄色～桃色の粘質土壤の区域があります。



4 自宅前 茶山／やぶきた
自宅前の山の頂上に広がる緩やかな傾斜の茶山で、土質は赤土。



19 シヲダニ2 茶山／やぶきた等
大和高原から伊賀盆地に続く、なだらかな東向き山成斜面で、土質は礫まじりの黄色い重粘土。



23 オンボ山 茶山／やぶきた等
自宅前茶園と向き合う山頂から南～西向きに広がる緩傾斜地で、土質は赤土。